

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地															
福岡ビューティー アート専門学校		平成12年3月31日		岩本 克也		〒 812-0013 (住所) 福岡県福岡市博多区博多駅東1-16-28 (電話) 092-434-7131															
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地															
学校法人三幸学園		昭和60年3月8日		鳥居 敏		〒 113-0033 (住所) 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151															
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度														
衛生	衛生専門課程		トータルビューティー科		平成13(2001)年度	-	平成27(2015)年度														
学科の目的	「ありがとうといわれる美容のプロになる」をビジョンとし、メイク・エステ・ネイルなど「美」の知識・技術をトータルに身に着け、美容の関連分野において、活躍する人材を育成するため、必要とされる知識と技術を教授する事を目的とする。																				
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	入学後、半年間はメイク・エステ・ネイルがトータルに学べ、自分の好きをトコトン学べる選択授業も豊富。現場経験を重ねて即戦力になれる有給企業インターンシップ制度もある。主な取得可能な資格は、メイク検定アドバンスやネイリスト技能検定2級等。美容師免許取得コースでは、美容師国家資格取得もめざせる。																				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技													
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	単位時間 62 単位	単位時間 117 単位	単位時間 142 単位	単位時間 5 単位	単位時間 0 単位	単位時間 13 単位													
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率																
144 人	136 人	0 人		0 %	0 %																
就職等の状況	■卒業者数(C) : 54 人																				
	■就職希望者数(D) : 34 人																				
	■就職者数(E) : 27 人																				
	■地元就職者数(F) 23 人																				
	■就職率(E/D) 79% %																				
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) 85% %																				
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C) 50% %																				
	■進学者数 12 人																				
	■その他																				
	(令和 6 年度卒業者に関する令和 7 年 5 月 1 日時点の情報)																				
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																				
	※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL																				
当該学科の ホームページ URL	<a href="https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-beauty/">https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-beauty/</a>																				
企業等と連携した 実習等の実施状況 (A、Bいずれかに 記入)	(A: 単位時間による算定)																				
	<table><tr><td>総授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>うち必修授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>単位時間</td></tr></table>								総授業時数	単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	単位時間	うち必修授業時数	単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)
総授業時数	単位時間																				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位時間																				
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位時間																				
うち必修授業時数	単位時間																				
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間																				
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位時間																				
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位時間																				
	(B: 単位数による算定)																				
	<table><tr><td>総単位数</td><td>62 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数</td><td>2 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した演習の単位数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td>うち必修単位数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の単位数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)</td><td>0 単位</td></tr></table>								総単位数	62 単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	2 単位	うち企業等と連携した演習の単位数	0 単位	うち必修単位数	0 単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	0 単位	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)
総単位数	62 単位																				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	2 単位																				
うち企業等と連携した演習の単位数	0 単位																				
うち必修単位数	0 単位																				
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位																				
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	0 単位																				
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	0 単位																				
教員の属性(専任教員について記入)	<table><tr><td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者(専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td><td>7 人</td></tr><tr><td>② 学士の学位を有する者等(専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td><td>1 人</td></tr><tr><td>③ 高等学校教諭等経験者(専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td><td>0 人</td></tr><tr><td>④ 修士の学位又は専門職学位(専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td><td>0 人</td></tr><tr><td>⑤ その他(専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td><td>1 人</td></tr><tr><td>計</td><td>9 人</td></tr></table>								① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者(専修学校設置基準第41条第1項第1号)	7 人	② 学士の学位を有する者等(専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1 人	③ 高等学校教諭等経験者(専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人	④ 修士の学位又は専門職学位(専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人	⑤ その他(専修学校設置基準第41条第1項第5号)	1 人	計	9 人	
	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者(専修学校設置基準第41条第1項第1号)	7 人																			
	② 学士の学位を有する者等(専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1 人																			
	③ 高等学校教諭等経験者(専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人																			
	④ 修士の学位又は専門職学位(専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人																			
	⑤ その他(専修学校設置基準第41条第1項第5号)	1 人																			
	計	9 人																			
<table><tr><td>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</td><td>6 人</td></tr></table>								上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	6 人												
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	6 人																				

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、美容分野専門委員会にて提案される。

提案に基づき、美容分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
長谷 栄次	特定非営利活動法人日本ヘアカラー協会	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	①
北川 幸弘	株式会社フジシン	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
清水 智子	株式会社ソシエ・ワールド	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
長崎 真由美	株式会社ラグゼビューティー	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
岡西 美緒	株式会社TAT	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
眞光 涼	学校法人三幸学園福岡ビューティーアート専門学校 副校長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	—
三宅 洋之	学校法人三幸学園福岡ビューティーアート専門学校 教務主任	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (11月、6月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年11月14日 10:00～11:30

第2回 令和7年6月26日 15:00～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会にいただいた以下の意見について対応を行っている。

～スチューデントサロンの行事を、より現場に即した技術と接客力で実施するために～

〈頂戴したご意見〉

①お客様とのコミュニケーションの取り方が課題である。初回カウンセリング時の言葉掛けや距離感など、接客スキル全般の向上が必要。

⇒対応：授業担当教員が、接客の基本である「挨拶」から見直しを行う。併せて、外部講師による接客ポイント等を授業内容に追加し、実践的な指導を行う。

②基本的な技術の習得に加え、時間を意識した施術を行う。

⇒対応：サロンワークなどの技術授業において、現場を想定したシミュレーションを強化する。実施後には振り返りを行い、課題の改善につなげる。

③現場に即した技術およびメニュー構成を取り入れる。

⇒対応：表面的な技術指導にとどまらず、骨格や筋肉などの基礎知識を関連付けた内容で授業を実施する。技術の背景にある理論理解を深め、より実践的な学びにつなげる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的な指導を施すにあたり、美容業界における実績や、実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導能力を有する指導者が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。美容業界の求める人材要件に沿った計画、および評価基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

\* 授業内容について

2年次に2週間程度、連携企業先で現場実習を実施し、美容業界への知識や社会人としてのマナーを習得する。

\* 評価について

連携企業による項目別の評価をもとに最終評価に反映させ、成績認定を行うものとする。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科目概要	連携企業等
サロンワークⅠ-Ⅱ	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける	ピアス株式会社

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日の美容業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。

・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修

・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名： 三幸学園 美容分野サマーセミナー

連携企業等： ELCジャパン合同会社MAC

期間： 2024年8月23日(金)

対象： 教職員(15名)

内容： 現場が求めている力や、企業が学校に求めていること(連携したいこと)

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名： 2025年度キックオフミーティング全教職員対象研修

連携企業等： 佛教大学

期間： 2025年4月2日(水)

対象： 教職員(50名)

内容： 現代社会を生きる学生と効果的な学習指導方法をめぐって一ポストコロナの教育について考えるー

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名： コンテスト強化研修

連携企業等： 株式会社ソシエ・ワールド

期間： 2025年8月21日(木)

対象： 教職員(13名)

内容： コンテスト強化の為の教員の指導力を養う

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名： 教職員指導力育成研修

連携企業等： 株式会社リクルート

期間： 2025年3月3日(火)

対象： 教職員(50名)

内容： 現代の学生に合わせた指導方法について

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。  
学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

委員会にいただいた以下の意見について対応を行っている。  
理念、目的、育成人材像などを掲げてはいるものの、具体的な指導が実施できていない。また、学生や保護者が理念等を目にする機会が少ない。  
→対応:入学時の保護者説明会を対面で実施し、学校の理念や教育方針等を伝えている。2025年度は保護者がいつでも視聴できるようオンデマンド形式で実施した。また、学校と保護者との連絡ツールアプリとして“スクリレ”を導入。教育目標、育成人材像に基づいた年間施策をキャリアデザイン授業の中で展開している。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年7月31日現在			
名 前	所 属	任期	種別
松田 仁	コーセー化粧品販売株式会社 九州北支店	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	業界関係者
山崎 有紀	GENKI JAPANESE & CULTURE SCHOOL	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	有識者(教育)
鈴木 裕太	SKILL 天神今泉	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	卒業生
岩田 健志	有限会社エイベックス	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	業界関係者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。  
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他(                      ))  
URL: <https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-beauty/disclosure/>  
公表時期: 令和7年7月31日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげる

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2)各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業
(3)教職員	教員数、組織、専門性
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5)様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6)学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他( )

URL: <https://www.sanko.ac.jp/fukuoka-beauty/disclosure/>

公表時期: 令和7年7月31日

授業科目等の概要

(衛生専門課程 トータルビューティークー)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			サロンマナーⅠ	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける	1・前	30	2	○			○			○	
2	○			カラーコーディネートⅠ	色に関する知識、法則、技法を理解する	1・前	30	2	○			○			○	
3	○			未来デザインプログラムⅠ	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する	1・前	15	1	○			○		○		
4			○	デッサン・イラストレーション	観察力と洞察力を養い芸術を理解する	1・前	30	2	○			○			○	
5			○	皮膚学Ⅰ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ ・皮膚の基礎知識 ・美容上大切な皮膚の6つの働き	1・前	30	2	○			○			○	
6			○	生理学Ⅰ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する（骨格系・筋系・神経系）	1・前	30	2	○			○		○		
7			○	栄養学Ⅰ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する（5大栄養素・栄養所要量・食物摂取とその消化吸收）	1・前	15	1	○			○			○	
8			○	化粧品学Ⅰ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ（化粧品概論・ネイル、メイク、ヘアケア化粧品・フレグランス・化粧品の原料）	1・前	15	1	○			○			○	
9			○	エスティック概論・衛生学・関係法規Ⅰ	エスティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エスティックに関わる法律、自主基準を理解する。	1・前	15	1	○			○			○	
10			○	ベーシックエステⅠ	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エスティックの流れ、基本の手法を覚え一つ一つの手法の意味を理解する	1・前	60	2		○		○			○	
11			○	ベーシックネイルⅠ	ネイルについて歴史などの背景から始まり各部名称や病気・消毒法などを理解し、基礎的なケアカラー技術を実践できる	1・前	60	2		○		○			○	
12			○	ベーシックメイクⅠ	スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる	1・前	60	2		○		○		○		
13			○	就職対策Ⅰ	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身につける	1・前	15	1	○			○		○		
14			○	キャリアデザインⅠ	自己成長と社会適応力を高め、充実した社会人へ向けての準備をする。	1・前	15	1	○			○		○		
15	○			カラーコーディネートⅡ	色に関する知識、法則、技法を理解する	1・後	30	2	○			○			○	
16	○			未来デザインプログラムⅡ	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する	1・後	15	1	○			○			○	
17			○	就職対策Ⅱ	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身につける	1・後	15	1	○			○		○		
18			○	キャリアデザインⅡ	自己成長と社会適応力を高め、充実した社会人へ向けての準備をする。	1・後	15	1	○			○		○		
19	○			サロンマナーⅡ	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける	1・後	15	1	○			○			○	
20			○	SNS・WEB・フォトスキル	美容業界の現状やニーズを把握し、SNS・WEB・フォトスキルを活用したマーケティング・集客を理解し実践できるようになる	1・後	15	1		○		○			○	

21			○	皮膚学Ⅱ	皮膚の働きやしぐみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ ・肌の美しさを損ねる要因・様々な肌状態 ・肌と環境・肌分析	1・後	30	2	○			○			○	
22			○	生理学Ⅱ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する（内分泌系・呼吸器系・循環器系・消化器系・生殖器系）	1・後	30	2	○			○			○	
23			○	栄養学Ⅱ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する（栄養学から見た食品・健康と栄養・サプリメント・食品添加物）	1・後	15	1	○			○			○	
24			○	化粧品学Ⅱ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ（フェイシャル、ボディ化粧品・化粧品に用いられる薬剤とその働き）	1・後	15	1	○			○			○	
25			○	ベーシックネイルⅡ	ネイル技術の基本を学び実践でき、さらに基礎に加えてJNA2級課題である爪の補修・補強を学ぶ	1・後	30	1		○		○			○	
26			○	ベーシックエステⅡ	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手法を覚え一つ一つの手法の意味を理解する	1・後	30	1		○		○			○	
27			○	ビューティーカウンセリング	メイクの業界で求められる人材や接客においての言葉使いを学び、また化粧品のブランドについての知識を研究し実践力を身につける	1・後	30	2	○			○			○	
28			○	検定メイクⅠ	メイクの基礎知識や技術を学びメイク検定合格をする	1・後	45	3	○			○			○	
29			○	ヘアアレンジⅠ	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする	1・後	60	2		○		○			○	
30			○	パーソナルメイク	基礎技術をテーマに合わせる（応用）メイクアップが出来るようになる	1・後	45	2		○		○			○	
31			○	ベーシックメイクⅡ	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す	1・後	30	1		○		○			○	
32			○	エステティックカウンセリングⅠ	一人ひとりの心や体の悩みの相談に応じて人間的な理解を深めて、悩みを解決へと導く心理学に基づく療法を理解する	1・後	15	1	○			○			○	
33			○	エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅱ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する	1・後	15	1	○			○			○	
34			○	プロフェイシャルⅠ	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事項・禁忌事項を学び肌の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける	1・後	60	2		○		○			○	
35			○	プロボディⅠ	全身のマッサージを学び、採寸から分析しクライアントに合わせたマッサージを提供する。注意事項・禁忌事項を学び身体の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける	1・後	60	2		○		○			○	
36			○	アロマセラピーⅠ	アロマセラピーの基礎知識、精油のプロフィール、トリートメント法、嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学、アロマセラピーに関わる法律問題・資格制度を学ぶ	1・後	30	2	○			○			○	
37			○	スカルプチュア	JNEC1級課題となるスカルプチュア・イクステンションの基礎を学び、知識とともに技術向上を目指し、アクリリックの特性を理解して施術が出来る	1・後	45	2		○		○			○	
38			○	ネイルケア&ネイルアートⅠ-Ⅰ	JNEC2級検定へ向けて、ニッパーのハンドリングやファイリング技術の強化と共に、様々なネイルアート（フラット）を描くことが出来る	1・後	45	2		○		○			○	
39			○	検定対策Ⅰ	JNEC3級検定を取得し、更なる上の級やJNAジェル検定初級の取得を目指し、ネイリストとしての基礎の完全にマスターし、実践できる	1・後	45	3	○			○			○	
40			○	ジェルネイルⅠ	ジェルの基礎を学び知識とともに技術向上を目指し、特性を理解して説明して施術が出来る	1・後	45	2		○		○			○	
41			○	コンテストⅠ	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる	1・後	15	1	○			○			○	
42			○	フェイシャル&ボディⅠ	エステティック機器の使用法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントを理解する。	1・後	45	2		○		○			○	
43			○	ネイルアートⅠ	JNEC3級のアートに加えて、更に上級検定やサロンで通用するネイルアートの技法を学び習得し、アートでの色使いや筆の使い方を習得する	1・後	30	1		○		○			○	

44			○	ネイル演習	J N E C 3 級の取得をして、更に上級の J E C 2 級検定へ向けて付け爪などの技術を習得し、より深くネイルケアの大切さを理解する	1・後	30	1		○		○			○	
45			○	パーソナルヘア&メイクⅠ	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする。	1・後	30	1		○		○			○	
46			○	検定メイクⅡ	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す	1・後	30	2	○			○			○	
47			○	スマホフォト技術	スマートフォンを使って作品撮りや自撮りのテクニックを身に付ける	1・後	15	1		○		○			○	
48			○	自己プロデュース	客観的な分析力と表現力を身に付ける	1・後	15	1		○		○			○	
49			○	パーソナルスタイル	客観的な分析力と表現力を身に付ける	1・後	15	1	○			○			○	
50			○	ビューティーフード	美容と健康に効果的な食の伝統と知識・食事法を理解する	1・後	15	1	○			○			○	
51			○	サロンワークⅠーⅠ	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する	1・後	45	1			○	○			○	
52		○		サロンワークⅡーⅠ	現場実践を積み、接客力を身に付ける コミュニケーション力を身に付ける	2・前	45	1			○	○			○	
53		○		サロンワークⅢーⅠ	現場実践を積み、接客力を身に付ける コミュニケーション力を身に付ける	2・後	45	1			○	○			○	
54			○	施設実習Ⅰ	美容業界の現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する	2・前	40	1			○		○	○		
55			○	施設実習Ⅱ	美容業界の現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する	2・前	40	1			○		○	○		
56			○	就職対策Ⅲ	社会人としてのマナーやルールを学び就職内定につなげる	2・前	15	1	○			○			○	
57			○	就職対策Ⅳ	社会人としてのマナーやルールを学び就職内定につなげる	2・後	15	1	○			○			○	
58			○	着付けⅠーA	着付に関する知識・基礎技術を身につける。	2・前	30	1		○		○			○	
59			○	着付けⅠ	着付に関する知識・技術を身につける	2・前	30	1		○		○			○	
60			○	着付けⅡ	着付に関する知識・技術を身につける	2・後	30	1		○		○			○	
61			○	ビューティー接客Ⅰ	美容業界における接客スキルの基礎から応用までを体系的に学ぶ科目です。美容師、エステティシャン、ネイリストなど、顧客とのコミュニケーションが重要な職種において、信頼関係を築き、満足度を高めるための接客技術を習得します。	2・前	30	2	○			○			○	
62			○	ビューティー接客Ⅱ	美容業界における接客スキルの基礎から応用までを体系的に学ぶ科目です。美容師、エステティシャン、ネイリストなど、顧客とのコミュニケーションが重要な職種において、信頼関係を築き、満足度を高めるための接客技術を習得する	2・後	30	2	○			○			○	
63			○	ビューティーメイクⅠーE	美容の現場で求められるメイク技術と理論を体系的に学ぶ科目です。顔の骨格や肌質に応じたメイク技法、トレンドメイク、TPOに合わせた表現力など、プロフェッショナルとしてのメイクスキルを身につける	2・前	60	2		○		○			○	
64			○	ビューティーメイクⅡーE	美容の現場で求められるメイク技術と理論を体系的に学ぶ科目です。顔の骨格や肌質に応じたメイク技法、トレンドメイク、TPOに合わせた表現力など、プロフェッショナルとしてのメイクスキルを身につける	2・後	60	2		○		○			○	
65			○	ブランドリサーチⅠ	美容・ファッション業界における国内外のブランドの特徴、戦略、価値観を調査・分析する科目です。ブランドの世界観やマーケティング手法、ターゲット層などを理解し、プロとしての提案力やトレンド感覚を身につける	2・前	45	2		○		○			○	
66			○	ブランドリサーチⅡ	美容・ファッション業界における国内外のブランドの特徴、戦略、価値観を調査・分析する科目です。ブランドの世界観やマーケティング手法、ターゲット層などを理解し、プロとしての提案力やトレンド感覚を身につける	2・後	45	2		○		○			○	

67			○	カウンセリングⅠ	美容サービスにおいて顧客のニーズや悩みを的確に把握し、最適な提案を行うためのコミュニケーション技術を学ぶ科目です。信頼関係の構築、心理的配慮、提案力を高めることで、顧客満足度の向上とリピーター獲得につなげる力を身につける	2・前	60	4	○			○				○	
68			○	カウンセリングⅡ	美容サービスにおいて顧客のニーズや悩みを的確に把握し、最適な提案を行うためのコミュニケーション技術を学ぶ科目です。信頼関係の構築、心理的配慮、提案力を高めることで、顧客満足度の向上とリピーター獲得につなげる力を身につける	2・後	60	4	○			○					○
69			○	クリエイティブヘアメイクⅠ	ヘアメイクの技術をベースに、芸術的・表現的な要素を取り入れた創作活動を行う科目です。ファッションショー、撮影、舞台、広告などの現場で求められる独創的なヘアメイク表現を学び、企画力・構成力・技術力を総合的に身につける	2・前	45	2			○		○				○
70			○	クリエイティブヘアメイクⅡ	ヘアメイクの技術をベースに、芸術的・表現的な要素を取り入れた創作活動を行う科目です。ファッションショー、撮影、舞台、広告などの現場で求められる独創的なヘアメイク表現を学び、企画力・構成力・技術力を総合的に身につける	2・後	45	2			○		○				○
71			○	ファッションⅠ	美容とファッションの関係性を理解し、スタイリングの基礎知識と技術を習得する科目です。服飾の歴史や素材、色彩理論、コーディネートの基本を学びながら、美容技術とファッション表現を運動させる力を身につける	2・前	15	1	○				○				○
72			○	ファッションⅡ	美容とファッションの関係性を理解し、スタイリングの基礎知識と技術を習得する科目です。服飾の歴史や素材、色彩理論、コーディネートの基本を学びながら、美容技術とファッション表現を運動させる力を身につける	2・後	15	1	○				○				○
73		○		サロンワークⅠーH	基本的なサロン業務を土台に、より高度な技術・接客・運営力を身につける応用科目です。実際のサロン運営を想定した実習や、顧客対応力・問題解決力・チームマネジメント力を身につける	2・前	60	2				○	○				○
74		○		サロンワークⅡーH	基本的なサロン業務を土台に、より高度な技術・接客・運営力を身につける応用科目です。実際のサロン運営を想定した実習や、顧客対応力・問題解決力・チームマネジメント力を身につける	2・後	60	2				○	○				○
75			○	ビューティーメイクⅠーF	美容の現場で必要とされるメイクアップ技術と理論を体系的に学ぶ科目です。肌の構造や顔の骨格に基づいたメイク技法、色彩理論、トレンド分析などを通じて、個々の魅力を最大限に引き出すメイク提案力を身につける	2・前	30	1			○		○				○
76			○	ビューティーメイクⅡーF	美容の現場で必要とされるメイクアップ技術と理論を体系的に学ぶ科目です。肌の構造や顔の骨格に基づいたメイク技法、色彩理論、トレンド分析などを通じて、個々の魅力を最大限に引き出すメイク提案力を身につける	2・後	30	1			○		○				○
77			○	スチールヘアメイクⅠ	広告・雑誌・ポートレートなどの静止画（スチール）撮影に対応するヘアメイク技術を学ぶ科目です。カメラ映えるメイク・ヘアスタイルの構成、ライティングとの関係、モデルとのコミュニケーションなど、撮影現場で求められる表現力と対応力を身につける	2・前	45	2			○		○				○
78			○	スチールヘアメイクⅡ	広告・雑誌・ポートレートなどの静止画（スチール）撮影に対応するヘアメイク技術を学ぶ科目です。カメラ映えるメイク・ヘアスタイルの構成、ライティングとの関係、モデルとのコミュニケーションなど、撮影現場で求められる表現力と対応力を身につける	2・後	45	2			○		○				○
79			○	ヘアアレンジⅡ	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする	2・前	45	2			○		○			○	
80			○	ヘアアレンジⅢ	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする	2・後	45	2			○		○			○	
81			○	ビューティーカウンセラーメイクⅠ	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する。スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する。	2・前	60	4	○				○				○
82			○	ビューティーカウンセラーメイクⅡ	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する。スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する。	2・後	60	4	○				○				○
83			○	ブライダルメイクⅠ	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。現場を意識した技術を出せるようになる。	2・前	45	2			○		○			○	
84			○	ブライダルメイクⅡ	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。現場を意識した技術を出せるようになる。	2・後	45	2			○		○			○	
85			○	特殊メイクⅠ	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする。	2・前	45	2			○		○				○
86			○	特殊メイクⅡ	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする。	2・後	45	2			○		○				○
87			○	アーティストメイクⅠ	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする	2・前	45	2			○		○				○

88			○	アーティストメイクⅡ	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする	2・後	45	2		○		○				○	
89			○	フォト&ファッションⅠ	フォト⇒写真のレイアウトやモデルのボーjing・撮影場所よっての注意点を理解し、実践力を身につける ファッション⇒ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める	2・前	15	1	○			○				○	
90			○	フォト&ファッションⅡ	フォト⇒写真のレイアウトやモデルのボーjing・撮影場所よっての注意点を理解し、実践力を身につける ファッション⇒ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める	2・後	15	1	○			○				○	
91		○		サロンワークⅠ-D	①マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営方法を習得する。 ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。	2・前	60	2			○	○				○	
92		○		サロンワークⅡ-D	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う	2・後	60	2			○	○				○	
93			○	エステティックカウンセリングⅡ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける	2・前	30	2	○			○				○	
94			○	エステティックカウンセリングⅢ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける	2・後	30	2	○			○				○	
95			○	サロントリートメントⅠ	研究レポートの作成と世界のエステを学ぶ ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー	2・前	45	2		○		○				○	
96			○	サロントリートメントⅡ	世界のエステの知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア ・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー	2・後	45	2		○		○				○	
97			○	エステティック総論Ⅰ-A	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学・運動学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。	2・前	60	4	○			○				○	
98			○	エステティック総論Ⅱ-A	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。	2・後	60	4	○			○				○	
99			○	フェイシャルマニピュレーションⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める	2・前	45	2		○		○				○	
100			○	フェイシャルマニピュレーションⅡ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める	2・後	45	2		○		○				○	
101			○	フェイシャルスキンケアⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める 電気機器の正しい取り扱い、効果、禁忌事項、留意点について理解する	2・前	45	2		○		○				○	
102			○	フェイシャルスキンケアⅡ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める 電気機器の正しい取り扱い、効果、禁忌事項、留意点について理解する	2・後	60	2		○		○				○	
103			○	ボディベーシックⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める	2・前	45	2		○		○				○	
104			○	ボディベーシックⅡ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める	2・後	45	2		○		○				○	
105			○	ボディテクニカルⅠ	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得。 エステティック機器の技術、知識を深める。	2・前	45	2		○		○				○	
106			○	ボディテクニカルⅡ	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得。 エステティック機器の技術、知識を深める。	2・後	60	2		○		○				○	
107			○	プロボディⅡ	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得 （コンサルテーション・エステティック機器・ハンドテクニック・接客マナー）	2・前	60	2		○		○				○	
108			○	プロボディⅢ	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得 （コンサルテーション・エステティック機器・ハンドテクニック・接客マナー）	2・後	60	2		○		○				○	
109			○	プロフェイシャルⅡ-B	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得（コンサルテーション・エステティック機器・ハンドテクニック・接客マナー）	2・前	90	4		○		○			○		

110			○	プロフェイシャルⅢ- B	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得（コンサルテーション・エステティック機器・ハンドテクニック・接客マナー）	2・後	90	4		○		○		○			
111			○	プロフェイシャルⅡ - C	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする（コンサルテーション・エステティック機器）	2・前	60	2		○		○		○			
112			○	プロフェイシャルⅢ - C	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする（コンサルテーション・エステティック機器）	2・後	60	2		○		○				○	
113			○	エステティック総論Ⅰ - B	エステティック知識総合（資格試験対応）（皮膚学・生理解剖学・栄養学・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ）	2・前	30	2	○			○				○	
114			○	エステティック総論Ⅱ - B	エステティック知識総合（資格試験対応）（皮膚学・生理解剖学・栄養学・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ）	2・後	30	2	○			○				○	
115			○	エステティック総論Ⅰ - C	アロマセラピー検定対策（H専攻対応）アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習 選択科目の理論を学ぶ（東洋医学・フラワーレメディ・アーユルヴェーダー・ロミロミ・カラーセラピー）	2・前	15	1	○			○				○	
116			○	エステティック総論Ⅱ - C	アロマセラピー検定対策（H専攻対応）アロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習 選択科目の理論を学ぶ（東洋医学・フラワーレメディ・アーユルヴェーダー・ロミロミ・カラーセラピー）	2・後	15	1	○			○				○	
117			○	アロマセラピー総論Ⅰ	エステティック知識総合（スキンタッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール）	2・前	30	2	○			○				○	
118			○	アロマセラピー総論Ⅱ	エステティック知識総合（スキンタッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール）	2・後	30	2	○			○				○	
119			○	スパセラピーⅠ	選択科目の技術を学ぶ（東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー）	2・前	60	3		○		○				○	
120			○	スパセラピーⅡ	選択科目の技術を学ぶ（東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー）	2・後	60	3		○		○				○	
121			○	検定対策Ⅱ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる	2・前	60	4	○			○				○	
122			○	検定対策Ⅲ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる	2・後	60	4	○			○				○	
123			○	検定対策&スカルプチュアⅠ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する	2・前	60	4	○			○				○	
124			○	検定対策&スカルプチュアⅡ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する	2・後	60	4	○			○				○	
125			○	ジェルネイルⅡ	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる	2・前	60	2		○		○				○	
126			○	ジェルネイルⅢ	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる	2・後	60	2		○		○				○	
127			○	コンテストⅡ	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる	2・前	30	1		○		○				○	
128			○	コンテストⅢ	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる	2・後	30	1		○		○				○	
129			○	ネイルケアⅡ	トリートメント・フットやマシン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する	2・前	45	2		○		○				○	
130			○	ネイルケアⅢ	トリートメント・フットやマシン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する	2・後	45	2		○		○				○	
131			○	ネイルアートⅡ	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する	2・前	45	2		○		○				○	
132			○	ネイルアートⅢ	ポリッシュアートなどのフラットアートから4Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する	2・後	45	2		○		○				○	

133		○		サロンワークⅠ-J	①マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営方法を習得する。 ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。	2・前	30	1				○	○				○	
134		○		サロンワークⅡ-J	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う	2・後	30	1				○	○				○	
135			○	エステティックカウンセリングⅠ-J	エステティック施術において顧客の悩みや希望を的確に把握し、最適な施術プランを提案するためのカウンセリング技術を学ぶ科目です。肌・身体・心の状態を総合的に理解し、信頼関係を築くためのコミュニケーション力と提案力を身につける	2・前	15	1	○				○				○	
136			○	エステティックカウンセリングⅡ-J	エステティック施術において顧客の悩みや希望を的確に把握し、最適な施術プランを提案するためのカウンセリング技術を学ぶ科目です。肌・身体・心の状態を総合的に理解し、信頼関係を築くためのコミュニケーション力と提案力を身につける	2・後	15	1	○				○				○	
137			○	アロマセラピーⅡ	1年次に習得したアロマの基礎知識と技術を踏まえ、より専門的な精油の活用法、トリートメント技術、カウンセリング力を高める応用科目です。心身の状態に合わせた精油選定やブレンド技術、施術への応用、さらにはサロンでの実践力を身につける	2・前	15	1	○				○				○	
138			○	アロマセラピーⅢ	1年次に習得したアロマの基礎知識と技術を踏まえ、より専門的な精油の活用法、トリートメント技術、カウンセリング力を高める応用科目です。心身の状態に合わせた精油選定やブレンド技術、施術への応用、さらにはサロンでの実践力を身につける	2・後	15	1	○				○				○	
139			○	フェイシャル&ボディⅡ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。	2・前	60	3		○			○				○	
140			○	フェイシャル&ボディⅢ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。	2・後	60	3		○			○				○	
141			○	ネイルケア&ネイルアートⅠ-J	ネイリストとして必要な基礎知識と技術を体系的に学びます。爪の構造理解から始まり、ネイルケアの基本技術、ジェルネイル、ネイルアート、スカルプチュア、フットケアなど、実践的なスキルを習得します。加えて、接客マナーやサロンワークに必要なコミュニケーション能力を身につける	2・前	45	2		○			○				○	
142			○	ネイルケア&ネイルアートⅡ-J	ネイリストとして必要な基礎知識と技術を体系的に学びます。爪の構造理解から始まり、ネイルケアの基本技術、ジェルネイル、ネイルアート、スカルプチュア、フットケアなど、実践的なスキルを習得します。加えて、接客マナーやサロンワークに必要なコミュニケーション能力を身につける	2・後	45	2		○			○				○	
143			○	検定対策&ジェルⅠ	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る	2・前	30	2	○				○				○	
144			○	検定対策&ジェルⅡ	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る	2・後	30	2	○				○				○	
145			○	パーソナルヘア&メイクⅡ	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする	2・前	30	1		○			○				○	
146			○	パーソナルヘア&メイクⅢ	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする	2・後	30	1		○			○				○	
147			○	トータルメイクⅠ	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う	2・前	30	1		○			○				○	
148			○	トータルメイクⅡ	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う	2・後	30	1		○			○				○	
149			○	ヨガ・ピラティスⅠ	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する	2・前	30	1		○			○				○	
150			○	ヨガ・ピラティスⅡ	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を知る 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する方法を知る	2・後	30	1		○			○				○	
151			○	ダイエット学Ⅰ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る	2・前	30	1		○			○				○	
152			○	ダイエット学Ⅱ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を知る	2・後	30	1		○			○				○	
153			○	インターンシップⅠ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける	1・前	45	1				○		○			○	

154			○	インターンシップⅡ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける	2・前	45	1			○		○		○	
155			○	インターンシップⅢ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける	2・後	45	1			○		○		○	
合計					155 科目			277 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法										授業期間等	
卒業要件： 本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。										1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 原則として教育課程に定められている順序で履修する。サロンワークⅠ～Ⅴは必修科目とする。										1 学期の授業期間	15 週

- （留意事項）
- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
  - 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。